

# 社会科（地理的分野）学習指導案

日 時	平成26年11月14日（金）第2校時
場 所	熊本大学教育学部附属中学校 視聴覚室
年 組	熊本市立武蔵中学校 1年4組 男子15名 女子13名 計28名
指導者	熊本市立武蔵中学校 教諭 工藤照彦

## 1 単元名 「アジア州」（東京書籍P44～54）

## 2 単元について

### (1) 単元観

本単元は、学習指導要領「内容」（1）の「世界の様々な地域」ウ「世界の諸地域」にあたる。アジア州に暮らす人々の生活の様子を把握できる地理的事象を取り上げ、それをもとに主題を設けて、地域的特色を理解させるものである。

ここでは、主題を「アジアの急速に進む成長と変化」とし、生徒に追究させる。アジア州の範囲は広大であり、中国や韓国のように日本とも密接な関係を持ち身近に感じられる東アジアから、カザフスタンやウズベキスタンなど、あまりなじみのない中央アジアまで様々な国が含まれており、多様性に富んだ地域といえる。

アジアの多くの国は近代になると、植民地として支配され、独立後も発展途上国として経済的に恵まれない時代に入った。しかし近年、アジアの各地で、安い賃金の労働力や豊富な石油資源など、それぞれの国の特色を生かした経済が急速に発展し、世界の中でも特に活気のある地域となっている。

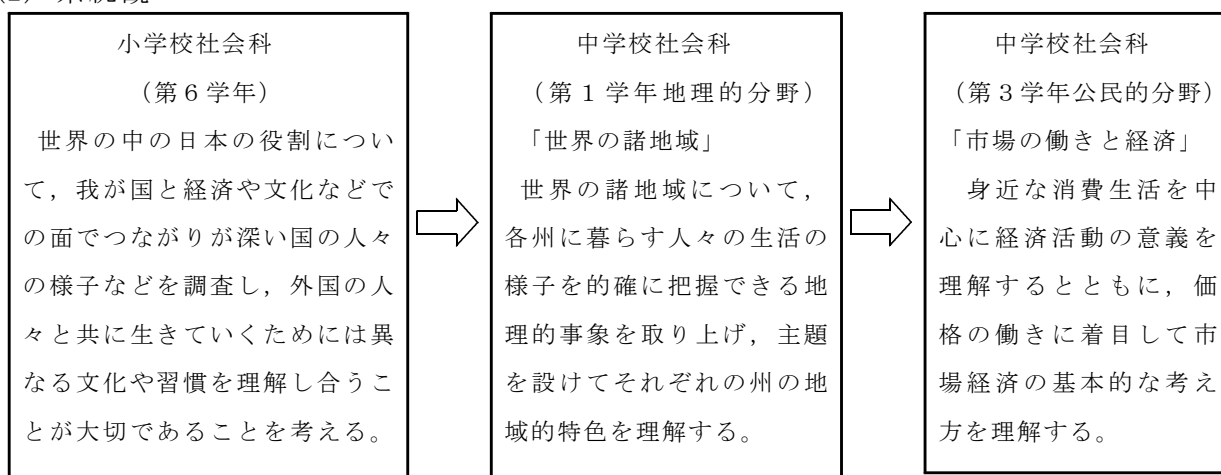
ただしこのような経済発展は、すべての国や地域にあてはまるわけではない。国と国との間には経済的な格差が見られ、さらには一つの国の中でも暮らしている地域がちがうことで、生活水準に大きな格差が生じている。また、経済発展を急ぎすぎたため、大気汚染や酸性雨などの環境破壊やインフラ整備の遅れなどが深刻になっている地域もあるのが実情である。

本単元は、基礎的・基本的な知識を習得するとともに、それらの知識を活用して「なぜアジアの国々は、急速に経済成長を遂げたのだろうか？」という主題を設定し追究する中で、アジア州の地域的特色を明らかにすることのできる単元である。

また多様な言語や文化を持つアジア州について理解を深め、共に成長していくアジアの地域的特色をとらえ直すことで、生徒たちはアジアの中の日本人の一人としての自覚や態度を身につけた見方や考え方を養うことができると考える。

生徒一人一人が、共に成長していくアジアと更により良いパートナーシップを目指し、今後のアジア社会を見つめ、アジアの未来を拓く力を育む上でも、価値のある単元といえる。

## (2) 系統観



## (3) 生徒観

本学級は28名（男子15名，女子13名）のクラスである。社会の授業においては概ね関心が高く，進んで学習に取り組もうとする意欲が見られる。

アンケートの結果，本単元に関係する生徒の実態は以下のとおりである。

（平成26年9月4日実施）

- ① アジア州に興味がありますか ある（9人）ない（19人）
  - ・アジアの人々の生活（4人）・アジアの文化（2人）・どんな国があるか（1人）
  - ・日本に近い国はどこか（1人） ・PM2.5の問題（1人）
- ② アジア州について知っていることやイメージすることは何ですか。
  - ・建造物〔万里の長城，タージマハル，アンコールワット〕（9人）
  - ・人口が多い（7人）・面積が大きい国がある〔ロシア，中国〕（5人）
  - ・仏教（4人）・エベレスト山（1人）・中華料理（1人）
  - ・大気汚染で問題になっている（1人）
- ③ アジアの工業について知っていることはありますか。ある（4人）ない（24人）
  - ・資源が豊富（2人）・中国はIT産業がさかん（1人）・大量生産（1人）
- ④ なぜ，アジアの製品が日本にたくさん入っていると思いますか
  - ・日本に近いから（7人） ・人口が多い国があり，大量生産しているから（7人）
  - ・値段が安いから（5人） ・品質が良いから（2人） ・国の数が多いから（2人）
  - ・面積が広いから（1人） ・わからない（4人）

アジア州に関心がある生徒は少なく，面積や人口について知っている生徒が多いものの，工業化が進んでいる地域だととらえている生徒はほとんどいなかった。そこで，単元の導入で生徒の関心を高める工夫を行い，追究に値する単元課題を設定することが必要であることがわかる。またアジアの経済発展について様々な要因があると考えていることから，より多面的・多角的な視点から課題解決に迫れるよう，調べ方を工夫しなければならない。

#### (4) 指導観

本単元の指導にあたっては、次の点に留意する。

- ・内容をわかりやすく提示するために視聴覚教材（プレゼンテーションソフト等）を利用する。
- ・生徒一人一人に学習課題を深く考えさせるため、複数の資料から適切な資料を厳選し、生徒に提示する。
- ・それぞれが調べた内容を統合してテーマ全体の理解を構築するために、ジグソー学習を取り入れる。
- ・G T（ゲストティーチャー）の話聞くことで、学習内容をより身近なものとして認識させ、理解を深めさせる。

### 3 単元の目標

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"><li>・アジア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特に経済成長に関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究できる。</li><li>・日常よく見かけるアジア製品、そしてアジア各地を移り住んできたクラスメートの生い立ちなどから、アジア州と自分たちの生活とのかかわりに関心を持つことができる。</li></ul>
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"><li>・アジア州の経済が成長してきた理由について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</li><li>・広範なアジア州の経済成長の過程を、地域ごとに理解するとともに、州全体の地域的特色を考察できる。</li></ul>
技能	<ul style="list-style-type: none"><li>・アジア州の人口増加、都市と農村の変化、国家間の結び付きなどについて表した主題図や写真などの資料から、アジア州の地域的特色について有用な情報を適切に選択することができる。</li><li>・適切に選択した情報から読み取ったことを、文章にまとめたり発表するなどして、表現する力を身につけることができる。</li></ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"><li>・アジア州について、変化に富む自然環境と、都市化が急速に進む様子を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解できる。またアジア州について、「経済の成長」の学習テーマをもとに地域的特色を理解できる。</li></ul>

#### 4 単元の指導計画及び評価（規準）計画（全7時間，本時7／7）

次	時	主な学習活動	評価				
1	1	○本単元を通じた学習課題を知り，アジア州の急速な成長と変化について意欲的に追究する。 ○GTからのビデオメッセージを視聴する。	・「アジア州の経済成長」の要因について意欲的に追究しようとしている。  【関心・意欲・態度】				
単元を貫く課題：なぜアジアの国々は，急速な経済成長を遂げたのだろうか？							
2	1	「アジア州をながめて」 ○アジアの自然について，雨温図などの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身につける。 ○アジアの人口や文化，産業について，写真，グラフなどの資料から読み取り，基礎的・基本的な知識を身につける。	・変化に富む自然環境や都市化が急速に進むアジアの概観を理解している。  【知識・理解】 ・アジアの産業別人口と，主な製品の生産量におけるアジアの占める割合の帯グラフから，アジアの工業化の様子を読み取っている。  【技能】				
3	1	「経済成長がいちじるしい中国とインド」 ○中国とインドの急速な工業化の様子を，本文や資料から読み取る。また格差の拡大などの課題について理解し，その対応策について考察する。	・中国とインドの急速な工業化の様子を，様々な資料を関連づけることで読み取っている。  【技能】 ・中国やインドの経済成長の特色や課題について，多面的・多角的に考察している  【思考・判断・表現】				
4	1	「急速に変わる東南アジア及び石油でうるおう西アジアと注目される中央アジア」 ○近年，アジアの国々の製品が日本に大量に輸出されていることから，特に東南アジアの産業についての関心を持つ。 「石油でうるおう西アジア」 ○写真や分布図などから，西アジアや中央アジアの国々の特色を読み取る。	・東南アジアと自分たちの生活とのかかわりに関心を持ち，その理由を意欲的に調べようとしている。  【関心・意欲・態度】 ・西アジア，中央アジアの産業の特色について理解している。  【知識・理解】				
5	1	○前時までの学習をもとに，ジグソーグループで視点ごとに役割分担して調べ，根拠となる資料をもとにまとめる。  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>A 人口</td> <td>C 企業・労働者</td> </tr> <tr> <td>B 資源</td> <td>D 外国との結びつき</td> </tr> </table>	A 人口	C 企業・労働者	B 資源	D 外国との結びつき	・様々な資料をもとに，内容をわかりやすくまとめ，表現している。  【思考・判断・表現】
A 人口	C 企業・労働者						
B 資源	D 外国との結びつき						
	1	○調べた結果をホームグループに持ち寄り，「なぜアジアの国々は，急速に経済成長を遂げたのだろうか？」という学習課題について，アジアの多様性の視点から考察する。	・アジア州で，急速な成長が進んだ理由について，これまでの学習を踏まえて論述したり，意見交換したりしている。  【思考・判断・表現】				
6	1 本 時	○アジアの地域的特色を踏まえて，今後もっとアジア経済が発展するための課題について，考察することができる。 ○GTの話聞く。	・様々な資料をもとにして，アジアの地域的特色をキャッチコピーに表現している  【思考・判断・表現】				

## 5 本時の学習

### (1) 本時の目標

急速な経済成長を遂げたアジアへの企業進出のキャッチコピーを作ることを通して、アジアの地域的特色をより深く理解することができる。

### (2) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	学習形態	教師の指導と支援 (予想される生徒の反応)	その他 教材・資料等	
導入	4	1 これまでの学習を振り返り，本時の学習内容を確認する。	一斉	○これまでの学習で使用した資料などを提示して，学習課題を確認する。	スライド資料	
展	6	なぜアジアの国々は，急速に経済成長を遂げたのだろうか？				
		2 ホームグループごとの考えを代表者が発表する。	班	A 人口 B 資源 C 企業・労働者 D 外国との結びつき	グループごとにまとめた発表資料 (根拠となる資料も含む)	
開	27	これからアジア経済がもっと発展するため，アジアへの外国企業誘致のキャッチコピーを作ろう				
		3 アジアへの外国企業の誘致のキャッチコピーを作り，発表する。	個人→班→一斉	○アジア経済の地域的特色を考えることで，これからのアジア経済を考える。 ・たくさんアジアへようこそ ・売ります。買います。6州のNo.1アジア！	評価 ワークシート ホワイトボード	
	10	4 GTの話を開く。	一斉	○学習してきた内容に照らし合わせながらアジア経済の現状とアジアが共に発展していく大切さについて話してもらう。	GT（東京エレクトロン社員）	
まとめ	3	5 教師のまとめを聞く。	一斉	○キャッチコピーとGTの話に関連づけて，振り返らせる。	スライド資料	

### (3) 本時の評価

場面	評価規準
評価	A：様々な資料をもとにして，アジアの地域的特色を多面的，多角的にキャッチコピーとして表現している。 B：様々な資料をもとにして，アジアの地域的特色をキャッチコピーとして表現している。